



NO.1288

10月18日

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四七七

市議会第8回臨時会

新庁舎設計委託費など審査

10月12日、第8回臨時会が開かれ、補正予算と財産の取得について提案がありました。

補正予算については、新庁舎建設の基本設計実施設計、地質調査、用地測量、交通量調査の委託費を補正するものです。基本設計実施設計については、令和2年度3年度で設計することから継続費として設定（1億6350万円）するものです。



コロナウイルス対策としては、宿泊クーポンの発行、発熱外来設置のための医療機関への助成、生ごみ堆肥化事業などが提案されました。

小中学校全生徒にパソコン

財産の取得については、児童・生徒用に1人1台のパソコン端末を購入するものです。

議案は、全会一致で可決されました。

「国会かけある記」10月12日

参議院議員 岩淵 友

人口減少や 財政困難につけこむな



寿都町長と神恵内村長が「核のごみ」の最終処分に関わって、文献調査への応募を表明しました。

町長とNUMOなど推進派側の住民説明会で反対の声が相次ぐなか、住民の不安にこたえ、十分な議論が行われたとは、とてもいえません。

この問題を考えるとき、いつも福島のことを思い出します。先日、福島県双葉町にオーブンした「東日本大震災・原子力災害伝承館」に行ってきました。原発事故前、原発周辺の子どもたちに行われていた原発の体験学習。その記録集の一部が展示されていました。「一番すごいなあと思ったことは、生活が豊かになったという話」「貧しい生活から豊かな生活へ地域が変わってきた」など

と書かれた作文とともに、原発立地です。国は、人口減少や財政の困難さといった地域の苦しさにつけこむようなやり方をやめて、自治体が住民のくらしを守るために必要な財政保障を行うべきです。

原発事故後、避難所などで「事故が起きるなんて思ってた。こんなことになるとは原発なんてなければよかった」と何度も聞きました。安全神話の繰り返しではなく、十分な情報と議論が必要で

住民の方々から、「撤回は可能、ここからだ」という声があがっていると聞きました。連携をとりながら取り組んでいきたいと思

菅首相の奮戦メモ



先週の奮戦メモの最後のところで「菅首相は何故これだけは安倍政治を継承しなかったのか」と書きま

した。記事を書いた時点では、2016年にも行われていたことは報道されていなかったなど、結果として言葉足らずで誤解を与えたことを、お詫びいたします。菅首相のメッキが目を追うことにはがれてきました。「総合的、俯瞰的活動を確保する観点から判断した」と言っていたのに、その後、私は名簿を見たいなど無責任な発言が続いています。安倍氏より強権的な人物だと感じています。

村ちゃん 駆ける



第8回臨時会では、生ごみと袋を分ける破袋機を増設し、働く人のウイルス感染防止を

するようになった。コロナ感染で料理する機会が増え、6月は家庭用の生ごみは30%増えたという。私も先週の栗は薪ストーブの残り火で焼栗にして食べた。炭を利用する取り組みが山梨県で始まった。大型の機械を使う農業は二酸化炭素排出が多いが地球温暖化防止対策として、果樹の剪定した枝を炭にし、有機農業作物を温暖化防止対策の認証作物にするという。コロナを経験した人々が、効率優先ではなく本当の豊かさを求めている。安全な食材を求める消費者と生産者が同じ方向を向いていると感じた。

SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みは国や自治体、企業だけでなく、食品残さを減らすなど、一人一人の取り組みや意識が大切だと思



SDGsのロゴマークの一つ つくる責任 つくす責任

一人一人の取り組みや意識が大切だと思

流水

先日のニュースで「ゲノム編集技術」という遺伝子操作の研究でアメリカの女性科学者がノーベル化学賞受賞と報道されました。例え

ばトゲの無いバラをつくらうとするとバラ特有の素敵なあの香りが無くなるのだそうです。そこをさらに操作し、トゲが無くて香りのするバラをつくるのが可能なのだとか。ゲノム編集とは生命の設計図にあたる全遺伝子情報を自在に編集する技術らしいです。生命科学、医療、農業など様々な分野で応用されているようですが、その反面、生命を操ることの様々な問題も指摘されています。人間の都合の良いように動物や植物をつくることは生命の起源とか自然の流れに逆らうことです。▼遺伝子組み換え作物の栽培が米国、カナダで始まったのは1996年、今から24年前です。食の安全性が危ぶまれて各国で研究されてきました。動物実験では免疫細胞の異常や3世代目での子孫の減少、妊婦の体内に農薬成分が蓄積し、胎児へも移行する可能性が。ラットの寿命が短くなったり、乳ガンと脳下垂体の異常の増加、肝機能障害、腎肥大、皮膚ガンなど多くの動物実験で有害性は指摘されています（「食べ物通信」より）。一輪の花の形や香り、色、どんな生物もどれひとつ同じものはありません。小さくても弱くてもそのままみんなが生きていける世界を守りたいです。

直ちゃん